議員派遣報告書（閲覧用）

令和８年９月２５日

岐阜県議会議長　様

岐阜県議会議員　尾藤　義昭

下記のとおり議員派遣業務が終了しましたので、報告します。

記

派 遣 目 的	国際ホッケー連盟(FIH)会長から「FIHホッケーワールドカップ2026」への招聘を受け、各務原市長、朝日大学学長らとともに「ホッケー競技を通じたまちづくり」の取組を紹介するとともに、本年９月に開催される第20回アジア競技大会ホッケー競技の開催地となる岐阜県の魅力等についてFIH関係者及び各国ホッケー関係者に対してPR活動を行う。 また、世界最高峰の競技や大会運営を視察し、岐阜県のスポーツ推進施策の振興や活性化につなげていく。
行程表、派遣成果	別紙のとおり

県政に活用できる事項

県 担 当 課	内　　容
地域スポーツ課	スポーツ施設に関すること
競技スポーツ課	競技力向上・選手育成に関すること
観光文化スポーツ政策課	スポーツツーリズムに関すること

オランダ　渡航日程

日	日本時間	現地時間	行程・行事・便名	滞在地	備考
8月15日 （土）	 22:45		自宅～西岐阜駅 西岐阜駅―羽田空港 羽田空港　→　ウィーン国際空港 【NH　205便】	 機内泊	
8月16日 （日）		06:20	ウィーン国際空港 着	アムステルダム	
		07:10	ウィーン国際空港→アムステルダム・スキポール空港【OS　311便】		
		09:05	アムステルダム・スキポール空港 着		
		10:30	アムステルダム・スキポール空港 発 （借上車移動）		
		11:00	★Wagener Hockey Stadium　着 （FIH関係者らと面談）		
		12:00	昼食		
		13:30	★Wagener Hockey Stadium（視察・FIH関係者らと面談）		
		15:40	Wagener Hockey Stadium 発 （借上車移動）		
		16:00	ホテル着（チェックイン） ※宿泊先:『NH　Amsterdam　Zuid』		
		17:30	ホテル発 （借上車移動）		
		17:50	Wagener Hockey Stadium　着		
		19:00	★日本代表男子×アルゼンチン 観戦		
		21:10	Wagener Hockey Stadium　発 （借上車移動）		
		21:30	ホテル 着		
8月17日 （月）		08:40	ホテル発 （借上車移動）	アムステルダム	
		09:00	Wagener Hockey Stadium　着		
		09:30	★日本代表女子×チリ 観戦		
		11:30	昼食		
		13:30	★Wagener Hockey Stadium（FIH関係者らと面談・打合せ等）		
		15:00	★Wagener Hockey Stadium（各務原市のホッケー取組紹介等）		
		16:30	Wagener Hockey Stadium 発 （借上車移動）		
		16:50	ホテル着		
		18:00	★FIH関係者らと懇談会		

8月18日 （火）		08:40 09:00 09:30 11:30 13:30 15:00 16:30 16:50	ホテル発 （借上車移動） Wagener Hockey Stadium 着 ★日本代表男子×ニュージーランド 観戦 昼食 ★Wagener Hockey Stadium（FIH関係者らと面談・打合せ等） ★Wagener Hockey Stadium（各務原市のホッケー取組紹介等） Wagener Hockey Stadium 発 （借上車移動） ホテル着	アムステルダム	
8月19日 （水）		06:00 06:30 08:00 09:10 12:00	ホテル発 （借上車異動） アムステルダム・スキポール空港 着 アムステルダム・スキポール空港 発 【LH 1003便】 フランクフルト空港 着 フランクフルト空港 発 → 羽田空港 【NH 204便】	機内泊	
8月20日 （木）	08:10 09:33		羽田空港 着 羽田空港第2ターミナル 発 （京急空港線 京成高砂行） 羽田空港―西岐阜駅 西岐阜駅～自宅		

オランダ派遣報告書

1　期　間

令和８年８月 15 日(土)～20 日(木)

2　視察先

オランダ王国アムステルフェーン市（ワグナー・スタジアム）

3　派遣の目的

国際ホッケー連盟(FIH)会長から「FIH ホッケーワールドカップ 2026」への招聘を受け、各務原市長、朝日大学学長らとともに「ホッケー競技を通じたまちづくり」の取組を紹介するとともに、本年９月に開催される第 20 回アジア競技大会ホッケー競技の開催地となる岐阜県の魅力等について FIH 関係者及び各国ホッケー関係者に対して PR 活動を行う。

また、世界最高峰の競技や大会運営を視察し、岐阜県のスポーツ推進施策の振興や活性化につなげていく。

4　同行者

浅野各務原市長、大友朝日大学学長、横山アジアホッケー連盟会長ら

5　視察内容

■タヤブ・イクラム国際ホッケー連盟会長らと面談

時間：8 月 16 日（日）11:00～

場所：ワグナー・スタジアム

【概要】

今回の招聘に対する御礼及び各務原市長とともに各務原市が推進するホッケー競技を通じたまちづくりの取組紹介をした。タヤブ会長からは歓迎のお言葉とともに、各務原市が長年にわたり日本のホッケー競技の発展に貢献していることに感謝の言葉を述べられた。また、各務原市が長年積み上げてきた実績を高く評価しており、今後も FIH(国際ホッケー連盟)・AHF(アジアホッケー連盟)など関係機関との連携を深め、ホッケーの発展に共に取り組んでいこうとのご発言があった。




■ワグナー・スタジアム視察

時間：8 月 16 日（日）13:30～

場所：ワグナー・スタジアム

【概要】

FIH ホッケーワールドカップ 2026 の開催会場であるワグナー・スタジアムを視察し、競技施設や観客席、関係者の動線、各種運営設備等を確認した。世界最高峰の大会が開催される現場を視察することで、国際大会の開催環境や運営手法への理解を深めるとともに、今後のスポーツ振興や大会運営に向けた多くの示唆を得ることができた。







■ロブ・イェッテンオランダ王国首相と面談

時間：8 月 16 日（日）15：45～

場所：ワグナー・スタジアム

【概要】

国際ホッケー連盟の招聘を受けてオランダを訪問した旨を伝え、各務原市長とともに、ホッケー競技を活かした各務原市のまちづくりや、長年にわたる競技の普及・振興の取組について説明した。あわせて、令和 8 年 9 月に本市で開催予定の第 20 回アジア競技大会ホッケー競技の PR を行い、大会への理解と関心の向上を図った。ロブ・イェッテン首相からは訪問に対する歓迎の意が示されるとともに、各務原市への訪問に意欲を示され、「スポーツを通じて日本とオランダの地域間交流や次世代を担う若者同士の交流がさらに深まることを期待している」との言葉をいただいた。



左から２番目がロブ・イェッテン首相

■ホッケー男子日本代表チーム激励・試合観戦

時間：8 月 16 日（日）18：00～

場所：ワグナー・スタジアム

【概要】

日本対アルゼンチン戦を観戦し、世界ランキング上位のアルゼンチン代表に挑む日本代表の姿を視察しました。結果は惜敗となったものの、強豪国相手に果敢に戦う姿勢が印象的であり、試合後には選手らをねぎらい、今後の活躍を期待して激励した。（日本　0　対　3　アルゼンチン）

■三須和泰公益社団法人日本ホッケー協会会長らとホッケー女子日本代表チーム激励・試合観戦

時間：8 月 17 日（月）9：00～

場所：ワグナー・スタジアム

【概要】

三須和泰公益社団法人日本ホッケー協会会長とともに日本対チリ戦を観戦した。日本代表は果敢な攻撃と堅い守備で勝利を収め、岐阜県ゆかりの選手を含む選手たちが世界の舞台で躍動する姿が印象的であった。試合後には勝利を祝福するとともに、次戦に向けた激励を行った。（日本　3　対　0　チリ）



■パッカモール・ナン・シリワット国際ホッケー連盟オペレーション・コーディネーターらとワグナー・スタジアム内大会運営状況視察及び意見交換会

時間：8 月 17 日（月）13:30～

場所：ワグナー・スタジアム

【概要】

パッカモール・ナン・シリワット国際ホッケー連盟オペレーション・コーディネーターらと面談し、会場レイアウトや人員配置など大会運営の状況について視察を交えながら説明を受けました。その後、各務原市長とともに、各務原市が推進するホッケーによるまちづくりの取組と、第 20 回アジア競技大会ホッケー競技の開催について PR を実施した。





■ピエール・デュクレイ国際オリンピック委員会スポーツディレクターらにホッケー競技を通じたまちづくりの取組紹介

時間：8 月 17 日（月）16:00～

場所：ワグナー・スタジアム

【概要】

ピエール・デュクレイ IOC スポーツディレクターら IOC 関係者に対し、各務原市長とともにホッケーを中心としたまちづくりの取組を紹介するとともに、令和 8 年 9 月開催予定の第 20 回アジア競技大会ホッケー競技の PR 活動を実施した。

■FIH ホッケーワールドカップ 2026 ボランティアらと懇談会

時間：8 月 17 日（月）16:30～

場所：ワグナー・スタジアム

【概要】

会場内において人員整理、清掃、通訳等の業務に従事するボランティアの方々と意見交換を行った。活動参加の動機や具体的な役割、大会運営に対する思いなどを伺い、現場の実情について理解を深めることができました。あわせて、大会運営においてボランティアが果たす役割の重要性と、その貢献の大きさを認識する機会となった。

■三須和泰公益社団法人日本ホッケー協会会長らとホッケー男子日本代表チーム激励・試合観戦

時間：8 月 18 日(火)9:00～

場所：ワグナー・スタジアム

【概要】
三須和泰公益社団法人日本ホッケー協会会長らとともに、日本対ニュージーランド戦を観戦しました。日本代表が世界屈指の強豪国との対戦を通じて実践経験を重ねる様子を視察するとともに、試合後には選手らを慰労し、今後の活躍に向けて激励した。（日本　0　対　3　ニュージーランド）





■中村英孝愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会事務局次長らとタヤブ・イクラム国際ホッケー連盟会長らに第 20 回アジア競技大会ホッケー競技の取組紹介・PR
時間：8 月 18 日(火)13:00～
場所：ワグナー・スタジアム

【概要】
　中村英孝愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会事務局次長らとともに、タヤブ国際ホッケー連盟（FIH）会長らに対し、令和 8 年 9 月に各務原市で開催予定の第 20 回アジア競技大会ホッケー競技の PR を行いました。意見交換の中で、タヤブ会長からは大会期間中に来日し、ホッケー競技の機運醸成や大会の盛り上げに協力したいとの意向が示された。



■アムステルダムセ・ボス視察

時間：8 月 18 日(火)15:00～

場所：アムステルダムセ・ボス

【概要】

アムステルダム市とアムステルフェーン市にまたがる広大な都市公園「アムステルダムセ・ボス」を視察しました。同公園内にはワグナー・スタジアムも立地しており、都市公園とスポーツ施設を有機的に連携させたまちづくりやスポーツ振興の取組について、現地を視察しながら施設管理を担うアムステルダム市から説明を受け、その実施状況を確認することができた。

■ワグナー・スタジアム周辺のホッケー強化施設整備状況視察

時間：8 月 18 日(火)16:00～

場所：ワグナー・スタジアム周辺

【概要】

オランダ王立ホッケー協会（KNHB）が整備を進めるナショナル・トレーニングセンターをはじめとするスポーツ施設を視察するとともに、ワグナー・スタジアム周辺において、ホッケーを中心に競技力の強化、次世代アスリートの育成、国際大会の誘致・開催、施設整備を総合的に推進する取組について調査しました。視察を通じて、国と地域が連携しながら一体的に事業を展開している実情を確認することができた。

６．総括

今回、タヤブ・イクラム国際ホッケー連盟会長からの招聘を受け、FIH ホッケーワールドカップ 2026 の開催地であるオランダ・アムステルフェーン市を訪問し、大会運営の実態やホッケーを通じた地域づくりの取組を視察するとともに、第 20 回アジア競技大会ホッケー競技の開催地である岐阜県及び各務原市の PR 活動を行うことができた。

視察を通じて最も印象的であったのは、ホッケー競技そのものだけでなく、競技施設、都市公園、育成拠点、国際大会、地域住民及びボランティアが一体となり、スポーツを核としたまちづくりが推進されている点である。特に、オランダ王立ホッケー協会（KNHB）が進めるナショナル・トレーニングセンター整備や、ワグナー・スタジアム周辺における競技力向上・選手育成・国際大会開催を一体的に進める取組は、競

技振興と地域活性化を両立させる先進事例であり、本県にとっても大いに参考となった。

また、国際大会の運営面では、動線計画や会場レイアウト、人員配置が極めて合理的に構築されていることに加え、多くのボランティアが大会運営を支えていたことが強く印象に残った。大会を単なるスポーツイベントとしてではなく、地域全体で支えるイベントとして位置付け、住民参加を促している点は、アジア競技大会の開催を控える本県においても重要な視点であると感じた。今後はボランティアの確保・育成はもとより、大会を契機として地域の誇りや交流の創出につなげる仕組みづくりが求められる。

さらに、IOC や FIH 関係者との意見交換を通じて、各務原市が長年にわたり取り組んできたホッケーによるまちづくりが国際的にも高く評価されていることを実感した。これは岐阜県が有する貴重な地域資源であり、今後はアジア競技大会を一過性のイベントで終わらせるのではなく、競技人口の拡大、国際交流の促進、スポーツツーリズムの推進、人材育成などにつなげていくことが重要である。

岐阜県においては、ホッケーをはじめとしたスポーツを地域振興や観光振興、国際交流、青少年育成など幅広い政策分野と結び付けることで、地域の活力向上につなげることが期待される。今回の視察で得られた知見や人的ネットワークを生かし、第 20 回アジア競技大会ホッケー競技の成功はもとより、その先を見据えた持続的なスポーツ振興と地域づくりに取り組んでいく必要があると強く感じた。

今回の視察は、本県の今後のスポーツ施策を考える上で極めて有意義な機会となった。世界最高峰の大会運営やスポーツを核としたまちづくりの実践から得られた知見を県政に生かし、アジア競技大会の成功とそのレガシー創出に向けて積極的に取り組んでいきたい。